



子どもたちと絵本を楽しむボランティアグループ「えほん侍」の岩崎さん。(9月1日、おひさま文庫)

みりよく

絵本の魅力

えほん

特集

むかーしむかし。
あるところに、
えほんのみりよくをつたえる
さまざまなひとたちが
すんでいました。



読書の秋。みなさんは子どもたちに絵本や物語などを読んであげていますか？

絵本は、子どもたちの想像力を豊かにし、共に絵本を楽しむことで大人と子どもの大きなコミュニケーションのツールになります。

「子どもたちに絵本の世界の楽しさを知ってほしい」とそんな思いから、市内ではさまざまなボランティアグループが活動しています。方法はさまざま。巨大絵本にしてみたり、人形劇にしてみたり、絵本を基に「読み聞かせ」を行っています。参加する子どもたちはみんな笑顔。子どもたちは絵本の世界がとても大好きなんです。

子どもと絵本をつないであげるのは大人の役目です。深まる秋の夜長に、お子さんやお孫さんと絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今回の特集は「絵本の魅力」。市内で活動する皆さんに「絵本の魅力」について思いをうかがいました。



ブックスタート事業

赤ちゃんのこぼれ心と心を育むためには、親が抱っこして優しく語りかけてあげる時間が大切だといえます。そのついでに赤ちゃんも安心して人と心を通わせることを学んでいきます。

ブックスタートは、赤ちゃんがいるすべての家庭で絵本の読み聞かせを通して親子のきずなが深まるように、イギリスで始まりました。日本では「こども読書年」を機に全国に普及しました。
大村市でも平成14年から「こどもはぐむ絵本事業」としてスタート。親と子の心ふれあうひとときを持つきっかけづくりとして、市内に生まれたすべての赤ちゃんに、赤ちゃん訪問の際、絵本を手渡ししています。

STEP1

子どもが絵本に出会う瞬間



『けんちゃんとおきまつり』
作:大村市オリジナル絵本制作実行委員会
絵:藤原絵里子
おばあちゃんの家へお遣いに行く途中ちよつと寄り道。ふるさとの祭りをモチーフにした絵本。

オススメ絵本 PICK UP



『かめさんおさんぽ』
作:大村市オリジナル絵本制作実行委員会
絵:野中京子
大村公園に住む「かめさん」が春の公園をのんびりお散歩します。

大村市オリジナル絵本

絵本を通してふるさとに対する思いと、親子のきずなを大切に育むため「大村市オリジナル絵本」を制作しました。市民の皆さんに「ふるさとの風景」を公募し、それを基に大村にちなんだ物語が作られています。制作は市民協働で行われ、『かめさんおさんぽ』(0歳〜1歳児用)と、『けんちゃんとおきまつり』(3〜5歳児用)の2冊を制作しました。
こども家庭課では、「こころはぐむ絵本事業」として、『かめさんおさんぽ』など、絵本2冊を配付しています。

みんなの図書館



たくさんのお本や絵本と出会える場所である市立図書館には、皆さんの暮らしをより豊かにしてくれるさまざまな本があります。子ども室には、絵本や児童書だけでなく紙芝居もそろえています。また、市民の皆さんが絵本とふれあうきっかけとなるよう「おはなしの会」などのイベントも開催しています。

おはなしの会
毎週土曜日、午前11時
絵本や紙芝居の読み聞かせ
親子で遊ぼう！おはなしの会
毎月第2水曜日、午前11時
赤ちゃん向けに絵本の読み聞かせや手遊びをします。
パパといっしょにおはなしタイム
毎月第3日曜日、午前10時30分
パパが絵本を読みます。

大人も一緒に！うたとえほんdeコンサート

ボランティアグループ「ままんそれいゆ」の2人が歌と音楽で絵本の読み聞かせを行います。
とき 10月28日(日)、午後2時30分〜3時
ところ 市立図書館
絵本 『100万回生きたねこ』
※どなたでも参加できますが、30分で1冊の本を読む内容ですので、主に大人の方が対象
■市立図書館 ☎2457



『100万回生きたねこ』 作:絵:佐野洋子 講談社
100万回生き返っていろいろな飼い主に愛されたねこのお話。大人向けの深い物語。



『ぼんぼんぼん』
作:絵:柏原晃夫 ひかりのくに
絵本のイラストやことばに合わせて手や指でたたいてみよう。リズム遊びができる絵本。

『よろしくともだち』

作:内田麟太郎
絵:降矢なな 偕成社
人気絵本「ともだちや」でおなじみの「おれたち、ともだち」シリーズの最新作。



図書館には毎月、たくさん新しい絵本が入荷します。ぜひお越しください。

市立図書館司書 古川 千尋さん



オススメ絵本 PICK UP

中地区公民館おはなしの会



昭和58年に図書協力員として活動開始。「子どもたちの笑顔が原動力。逆に元気をもらっています。」と代表の兼俵さん。

「中地区公民館おはなしの会」は、「人形劇ぼかぼか」としても活動していて、絵本のお話がいろいろな方法で楽しめるので子どもたちにも大人気です。設立当初から図書室の普及のために絵本の読み聞かせなどを行ってきた牟田さんは、「絵本は子どもたちに想像の中でいろいろな体験をさせてくれます。人生のどこかできっと絵本で得たものが役立っているはず。親子のつながりを強化するためにもたくさん読んであげてほしい。」と絵本の魅力を語りました。

オススメ絵本 PICK UP 『三びきのやぎのらがらどん』

北欧民話 絵:マーシャ・ブラウン
福音館書店

子どもたちにも大人気!

北欧の民話をもとにした昔話絵本。リズムカルなことばの遊びと迫力が魅力。

牟田 ムツさん



おはなしの部屋



月に1回の例会で読みかかせの練習や情報交換を行っています。「学校や幼稚園での読み聞かせで二冊でも多く紹介したい」と話されました。

会員の皆さんが子育て中の頃に結成された「おはなしの部屋」。約30年間、市内各所で絵本やペープサートを使った読み聞かせを行っています。絵本は、子どもたちの情感を豊かにし、親子の触れ合いの手助けになるといいます。代表の坂中さんは、「子どもたちが絵本の楽しさを知り、読書習慣を身につける手助けをするとともに、幼児を持つ親たちにも絵本を子どもに読んであげることの大切さを伝えたい。」と思いを話されました。

オススメ絵本 PICK UP 『キャベツくん』

作:絵:長新太
文研出版

ページをめくるたびにドキドキし、最後には温かい気持ちになります。

キャベツくんとブタヤマさんの楽しい会話で想像力を豊かにさせてくれる絵本。

代表 坂中 留美子さん



STEP2

絵本の魅力を伝える人たち

えほん侍



県内でもめずらしい男性による読み聞かせグループ。年齢構成は小学2年生から60代までと幅広くママにも評判です。

育児に積極的に取り組む、いわゆる「育メン」がきっかけで読み聞かせを始めたという岩崎さん。地域文庫で子どもたちの反応を確かめ、図書館を中心に活動するボランティアグループ「えほん侍」で発揮しています。岩崎さんは「子どもたちには、絵本を通して優しさを感じ取ってほしい。育児は大変ですが読み聞かせを取り入れれば、子どもと仲良く、絵本を通して同じ時間を共有できます。この活動が普及し、パパたちが家庭に染み入る存在になれば。」と熱く語りました。

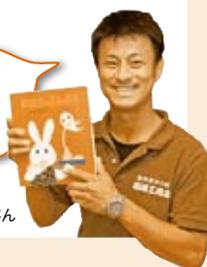
オススメ絵本 PICK UP 『おばけのてんぷら』

作:絵:せなけいこ
ポプラ社

チャレンジ精神が養える本だと思います!

うさこがてんぷらを揚げていると山からおばけが。子どももメシたがる一冊。

岩崎 秀雄さん



おひさま文庫



上小路公民館でボランティアにより運営される地域文庫。絵本の貸し出しだけでなく、地域の人が集う交流スペースです。

月に2回開館する「おひさま文庫」。年齢が違う子、親、地域の人たちが交流できるのが地域文庫の特徴です。このような文庫が市内には3か所(5ページ参照)あり、地域で重要な役割を果たしています。おひさま文庫の運営に携わる伊藤さんは、「絵本は子ども向けというイメージがありますが、赤ちゃんからお年寄りまで楽しめるさまざまな種類の絵本があります。ぜひお気に入りの絵本に出会い、大人も子どもも絵本に親しんでほしい。」と思いを話されました。

オススメ絵本 PICK UP 『ピーターラビットのおはなし』

作:絵:ビアトリクス・ポター
福音館書店

キャラクターを知っている人は多いはずぜひ絵本を。

100年以上も前に出版された絵本。古くさくなく、世界を代表する名作。

代表 伊藤 佐智子さん



郡コミセン図書室



利用時間
平日/午前10時～午後5時30分
土曜日/午前9時～午後1時
休室日 日曜日、祝日
読み聞かせ
おはなしたいむ
毎月第2土曜日 午前11時
■郡コミセン ☎553337

STEP3

Let's go to a library.

お気に入りの絵本を探しに出かけよう!



住民センター図書室

●竹松住民センター図書室

利用時間 火～金曜日
午前9時～午後5時30分



■竹松住民センター ☎558314

匿名の贈呈品や地域からの寄付などのおかげで、蔵書は1万冊以上。本を150冊読んだ子どもたちに金メダルを渡すなど独自の活動を展開しています。図書室を管理する松本さんは、「幼児期の読書体験は、大きくなってからの読書に大きな影響を与えます。幼児期に絵本に親しむことが大切。」と話されました。

開室日 火・金曜日 ※開館時間をお問い合わせのうえお越しください。
三浦住民センター ☎526475 鈴田住民センター ☎522023
福重 " ☎558614 松原 " ☎558501
萱瀬 " ☎557001

オススメ
絵本
PICK UP

『はらぺこあおむし』

作 絵:エリック・カール
偕成社



青虫がチョウになる過程をカラフルに表現。子どもたちの期待が徐々にふくらんでいく、伝わりやすい絵本。

松本 三千子さん

Interview



大村市立図書館
鈴木 章子館長

絵本の読み聞かせは、親と子が愛情を確かめることができる一つの方法だと思います。読み聞かせを行うことで、本の内容を楽しむだけでなく、「親に読んでもらって楽しかった」という喜びが心の中に残り、親の愛情を感じることができるのです。子どもが字を覚えたら絵本の読み聞かせはしなくてもいい、と思っている人もいらっしゃるでしょうが、小学校に入学しても、「自分で読むから、もういいよ」と言われるまで、読んであげてください。絵本を通して得られた思い出は、大人にとっても子どもにとっても、大切な宝物となるでしょう。図書館では、たくさんの絵本を用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。お気に入りの絵本と出会えて、たくさんの思い出が作れますように…!



オススメ
絵本
PICK UP

『フレデリック』

作 絵:レオ・レオニ
好学社

冬支度をする野ネズミの中でただ一匹ぼんやり過ごしているフレデリック。長い冬が来て、フレデリックがしたことは…。ちょっと変わった野ネズミのお話。

中地区公民館図書室



利用時間
月～木曜日/午前9時～午後5時
土曜日/午前10時～午後3時
休室日 金・日曜日、祝日
読み聞かせ
おはなしの会
毎月第3月曜日 午前11時
■中地区公民館 ☎531376

地域文庫



公民館でボランティアグループの皆さんにより絵本の貸し出しや、地域や親・子ども同士の交流スペースを提供しています。

- おひさま文庫…上小路公民館
開 第1・3土曜日 午前10時～正午
- くすのき文庫…池田第一公民館
開 第2・4土曜日、第3木曜日 午前10時～正午
- ひまわり文庫…西大村地区コミセン
開 第2・3・4土曜日、第4木曜日 午前10時30分～正午
- 木場町内こども図書館…木場公民館
開 毎週水曜日 午後2時30分～4時30分